



香川証券は創立75周年、創業100周年。
「あんもち雑煮」のように、長年親しまれ、
味わいのある存在になれますように…。

江戸時代末期に讃岐で生まれた「あんもち雑煮」。
高松藩は産業として、塩・砂糖(和三盆)・木綿の「讃岐三白」を奨励しましたが、
当時の砂糖は贅沢品で、なかなか庶民の口には入りませんでした。
しかし、お正月くらいは…と、これも贅沢品だった白味噌仕立ての雑煮に、
あん入りの餅を忍ばせていただいたと伝わります。
時は移って……現在は、珍しいお雑煮として全国にも知られ、
香川では約半数*が「あんもち雑煮」をいただいているそうです。
今年2019年で創立75周年、創業100周年を迎える香川証券も、
各家庭に受け継がれる「財産」のような存在になれるよう、努めてまいります。
新年が、そして新しい元号を迎える本年が、やさしく味わいのある年となりますことを願って…。

*アンケートでみるうどん県民の「素顔」・雑煮「あん餅派」52% 四国新聞2016年1月より

Smile with You
"Smile with" project

 香川証券